

## 平成29年度活動報告

本年度は、昨年11月にハウスの屋根の修理が完了し、雨漏りが止まったことで堆肥の発酵状態がよくなり、スタッフの作業効率も格段と向上すると共に見学者や来場者に臭気がなくなったと好評です。

安定した経営継続のメドをたてるべき重要な年として、下記の事業を実施しました。

また、佐賀CSOさいこう事業（モデル型）の支援を受け、下記の1と2の活動を重点的に実施しました。

### 1 小学生への環境教育

- ・伊万里・立花・大坪・二里小学校の3・4年生（約300名）に対して、佐賀大学農学部の染谷教授の協力を受け、例年通り環境教育を実施しました。

### 2 食品関連事業所及び生ごみステーションの会員増強

本年度は、事業所は0増・4事業所の減（全店廃業）となり残念な状態となりました。市民の生ごみステーションは、平成29～30年度の二年計画であさひが丘と今町地区でモデル事業を実施し、10ヶ所150世帯の増設を目指しています。

### 3 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員の募集を実施しましたが、思うような拡大に至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上により販売先が佐世保、武雄、有田、多久、佐賀等にも広がるなど知名度も高まっています。

### 4 菜の花プロジェクト活動の推進

- ・いまり菜の花の会との協働で「環境杯グランドゴルフ大会」、市内全保育園への菜の花苗と堆肥の配布、保育園児による菜の花図画展、佐賀県菜の花栽培経験交流会等を開催し、菜の花の普及啓発活動を実施しました。
- ・はちがめプランの運営委員と風道の会員さんとで、今岳国営開発の5アールの農地に菜の花を栽培し、菜種30kgの収穫がありました。

### 5 国際協力への貢献

JICA 紹介によるアルゼンチン、アフガニスタン、インドネシア等海外から3団体27名の視察研修を受け入れました。

### 6 伊万里市との協働事業

学校給食の生ごみ有効利用について給食センターとの話し合いが進展し平成30年4月から、当法人に生ごみの提供が決まり委託契約となりました。このことで生ごみの資源化においては伊万里市との協働事業への一歩が始まりました。